

（ 大和郡山市の「元気城下町づくり」 ）

大和郡山市は、古くから郡山藩の城下町として栄え、県内製造業総出荷額の3分の1を占める工業都市として知られている。しかし、景気の低迷で、製造品出荷額は平成12年に約8,594億円だったものが、15年は約6,897億円までに減少し、地域経済の再生が課題となっていた。

同市は、15年6月より「元気城下町づくり」と名づけ、地域経済を活性化させる取組みを始めた。

1. 「元気城下町 クラブ」

仕事を終えた午後6時01分から、勤務場所、住所を問わず、大和郡山を元気にしようという意欲のある様々な業界の人たちが集まり、情報交換、営業マッチングなどが自由に出来る場。概ね、2か月に1回開催し、毎回約200名の人が集まっている。

2. 「商工フェア」

昭和工業団地、靴団地の企業と市内の企業が自社の代表的商品を展示して、企業間のビジネスマッチングを図るフェア。同時に、地元の特産品即売会、オークションなども催す。昨年は、9月18日～19日の2日間で、102件の出展、約16,000人の来場者で賑わった。今年は、11月12日（土）～13日（日）に開催される。

3. 「元気城下町あきないネット」

市内の商店や企業の事業内容、製品情報、技術情報などを掲載しているwebサイト。異業種企業間の交流、産官学の連携などによる新技術や新製品の開発など多方面での活用が期待されている。

同ネットは、サービス業、飲食業、小売業、卸売業、製造業、建設・工事の業種を掲載しており、市内の約820事業所を検索できる。また、県下の大学・研究機関、奈良県研究者データベースにもリンクされている。（上田）



「元気城下町 あきないネット」トップページ
<http://akinai-net.city.yamatokoriyama.lg.jp>

これからの主な催し

〔主な行事〕

●7月28日（木）

東大寺 解除会（けじょえ）

大仏殿内に茅草で作った約2mもの茅の輪が設けられ、東大寺の僧侶がこれをくぐって、盧遮那仏（大仏）に厄除けの法要を行い、疫病退散と家内安全を祈願する。

JR、近鉄奈良駅から市内循環バス

東大寺大仏殿下車徒歩5分

●8月6日（土）～15日（月）

なら燈花会 会場：浅芽ヶ原、浮見堂、浮雲園地、春日野園地、東大寺鏡池、興福寺、猿沢

池、五十二段、奈良国立博物館前、春日大社参道。

●8月14日（日）、15日（月）

春日大社中元万燈籠

境内の3,000に及ぶ燈籠は、800年の昔より藤原氏を始め広く庶民より奉納されたもの。

JR、近鉄奈良駅から市内循環バス

春日大社表参道下車すぐ

●8月15日（月）

奈良大文字送り火 20:00 点火

東大寺万燈供養会 19:00～22:00

普段閉められている「観相窓」が開く。